

平成25年1月

なばり市議会だより

No.

67

市議会の動きをコンパクトにまとめてお伝えします。今号は 6月 9月 12月 3月 の定例会をクローズアップ

編集/議会広報特別委員会 発行/名張市議会 ● 三重県名張市鴻之台1-1 ☎ 63-7834~5 ㊚ 64-8870 ✉ gikai@city.nabari.mie.jp



わたしも
まいってわー!

新年のごあいさつ



市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げますとともに、日ごろより、市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

初春を迎え、名張市のさらなる発展のために努力してまいりたいと決意をいたしております。私が目指す市議会の在り方は「心ある開かれた議会」であります。市民の幸せを実現するため、常に市民の立場で考え、皆さまのさまざまな思いを市政に反映できる、透明性が確保された議会でありたいと考えております。現在設置しております「議会改革検討委員会」では、市民委員、学識経験者とともに、議会の政策立案・提言機能や監視機能の強化、情報発信・広聴機能の充実など、あらゆる角度から議会改革について議論を重ねております。今後も、誠心誠意、市民の皆さまの声を十分お聴きし、ご期待に応えられるよう、全力を傾けてまいります。本年も市議会に対し、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のあいさつといたします。

名張市議会議長 永岡 禎

11月30日、地域づくり代表者会議と産業建設委員会と、とれたて名張交流館「とれなば」を視察した後、市の産業振興について活発な意見交換を行いました。

「とれなば」は、地場産品を販売するだけではなく、新たな交流・観光拠点として、農業・商業・社会福祉の連携、地域経済の活性化や地域福祉の増進など、多くの目的を担っています。

とれなば

12月定例会は、補正予算など20議案を可決

12月定例会(第354回)は、12月4日に開会、12月20日閉会した。条例制定5件、条例改正3件、一般議案1件のほか、平成24年度一般会計・特別会計の補正予算5件、市内普通科県立高校統合についての意見書などの議員提出議案3件、教育委員会委員の任命につき同意を求める議案が1件、専決処分の報告2件の計20議案を可決した。

(補正予算)

平成24年度一般会計の12月補正予算は、4億8,160万円の増額補正で補正後の予算は269億2,460万円となった。特別会計予算は、人件費の精査など計2億960万9千円を増額した。

Q&A

9議員の質問と、市長などの答弁をご紹介します(一部抜粋)。
掲載内容は議員から提出された原文を尊重して、編集しています。

一般質問

● まちづくり

清流クラブ

田合 豪 議員



Q 木津川上流25万都市

名張市・伊賀市・宇陀市・宇陀郡が合併して25万人の中核都市を目指してはどうか。総選挙が終わると、「地域主権型道州制」の動きが加速する。病院の経営統合や消防広域化問題の解決、東大和西三重観光連盟の強化、淀川水源都市の魅力もある。合併の是非を問う住民投票から平成25年2月で10年が経つが、見解を求む。



東大和西三重観光連盟

A 気運の高まりで

名張市は、単独自立の中で、自主自立のまちづくりを行ってきた。広域行政により、病院の経営統合や消防広域化問題を解決する中で、住民の気運が高まり、合併の必要性が出てきた時に対応を考える。

心風会

川合 滋 議員



Q 目指せ10万人都市

昭和40年代から住宅開発が進みベッドタウンとして人口が増加し10万人都市誕生が目前だったが、平成12年をピークに年々人口が減少してきている。名張市は10万人を想定した都市としてインフラ整備済みだ。市活性化策のため、人口減少の歯止め策として再度10万人都市を目指すべきだ。

A 10万人に向かう

福祉の理想郷、生み育てるにやさしいまちを目標に市政運営している。開発された住宅地には7000区画近くの空き地や、空き家がある。上下水道も余力があり、小中学校も余裕がある。市民主体のまちに主眼をおき人口増加を図りたい。「安心安全のまち名張」を掲げ、躍進プロジェクトで具体策を立てていく。



空き宅地

●暮らし

日本共産党

橋本 マサ子 議員



Q 消費税増税の影響は

民主・自民・公明で消費税の引き上げが可決された。実施されれば国民への影響は大きく、年間にして給料のひと月分の収入が減ると試算されている。住民税や所得税など今後の負担増もあり、暮らしや経営が立ち行かなくなる。加えて自治体財政への影響も懸念される。病院と水道事業会計はどのような状況が考えられるか。



A 水道料金に転嫁

病院事業会計は診療報酬に消費税がかかっているため、収入面では差はないと見込む。医療機器や物品購入などは、全て消費税がかかる大変厳しい状況になる。水道事業会計は増税になれば、水道料金に消費税増税分を転嫁せざるを得ない。

公明党

石井 政 議員



Q 骨髄ドナー助成制度

全国で毎年約6000人が白血病や再生不良性貧血など、血液の難病を発症している。有効な治療法の一つが造血幹細胞移植だが、患者とドナーの骨髄細胞タイプが適合しても4割は骨髄提供に至らない。ドナーの通院・入院時の休業補償がないため負担が重い。ドナーへ費用補助すること多くの命が救われる。助成制度を検討すべきだ。

A 平成25年度創設

骨髄移植を全国的に推進する骨髄移植推進財団がある。全国で40万人以上が登録し、年間千件以上の骨髄移植が実施されている。患者に、より良い治療を提供するため市民の理解が必要だ。一人でも多くの命を救うため、平成25年度から骨髄ドナー協力者に費用助成制度を創設する。



ドナーカード

心風会

幸松 孝太郎 議員



Q 保育ママ制度の提案

子ども部の課題として、待機児童が過去5年間毎年増え続けている。12月5日現在で77人の保育所の待機児童は、過去最高の数であり、全く歯止めがかかっていない。この打開策として、全国の先進自治体で採用している「保育ママ制度」の導入を提案したい。

A 25年度に取り組み

保育ママ制度は、短期的に保育サービスの量を増加させる有力な選択肢と認識されている。まずは、育児休業明けの母親などの優先度の高い者の受け皿の確保を最優先に考え、当面3歳未満の児童について具体的に進めていく。保育ママ制度の導入は、保育ママを支援する人材や保育所、公共施設などの地域資源を活用して平成25年度に取り組んでいきたい。



●教育

公明党

細矢 一宏 議員



Q 公立高校統合

県教育委員会が示した市内県立高校2校の統合には、多くの問題がある。二一ズと学生が一番多い部分を担っている2校を統合すると、伊賀地域内で偏在する高校の問題が拡大する。小学校から中学校へ進学する際の市外流出人数が減少するなか、普通科定員が減ることは、高校進学時に市外流出を拡大することにつながる。特別支援などの公立高校が担うべき役割についても、十分検討されていない。また、公立高校の担っている率も、統合と定員削減により下がっている。もっと検討し、伊賀地域全体の公立高校像を先に示すべきだ。

A 関係者の意見を考慮

思いは議員と同じである。関係者の意見を十分考慮してもらおう、県には要望していく。



●情報・産業・都市整備

清風クラブ

福田 博行 議員



Q インターネット中継

名張市議会では、一般質問の3日間のみアドバンスコピーをお願いをして実況中継をしている。生放送であり、その時以外は市民が見たい時に議会の議論を見ることができない。インターネット中継システムを導入すれば、いつでも見ることができ、市民と議会の距離が近くなる。導入を検討せよ。



A 25年度中に導入

インターネット中継の導入については平成25年度中に実現できるよう議会と協議する。

清風クラブ

吉田 正己 議員



Q 「これなば」の現況

平成24年8月6日「温浴施設」とこれたて名張交流館がオープンし、「まちの駅」の認定も受け、順調な滑り出しであるが、現在の状況はどうか。

A 順調に推移

「これたて名張交流館」は、8月オープンから4カ月間の利用者が約3300人で、一日平均280人、売上は約3000万円、登録会員は約180人である。温浴施設とともに観光交流の拠点として、年間50万人を目標に、他のまちの駅や市内観光地と連携を密にして、利用客増を目指す。



清流クラブ

高田 稔嗣 議員



Q 路地の水路整備

まちなかの「ひやわい」※や、路地通りに併設された小排水路の流れの環境が非常に悪い。生活排水が滞留しているので、気持ち良く生活できる環境づくりの目配りが必要だ。下水道工事と連動して改修されていくだろうが、時間を要するはずだ。整備採択の基準を問う。



A 順次整備

整備計画は無いが、区長の要望を中心に梁瀬水路の改修も含め整備を行っている。

Q & A

その他質問

日本共産党

三原 淳子 議員



Q 手厚い子育て支援を

年少扶養控除の廃止で子育て世帯は増税となり、児童手当の給付がされても一部手取りが減っている。国は今後子育て支援の財源に消費税増税を見込んでいるが、子育て世帯にとっては更に負担増となり家計を圧迫する。子どもの育ちと教育を保障し、安心して子育てできる支援を求める。

A 国と連携し対応

これまで高齢者中心としていた社会保障の配分を、子育て世代にも充たせていく。子ども子育て支援は、国の動向を見ながら、市としてしっかり対応する。

無会派

浦崎 陽介 議員



Q 学校教室の温度管理

小中学校において、授業を行う教室の温度設定は、学校環境衛生基準で冬季は10度以上、夏季は30度以下であることが望ましい。特別教室にストーブが設置されておらず、各学校の総点検と対応を求む。学校管理費は寄附に頼らず行政が予算措置を行うべきだ。

A 改めて確認し対応

温度管理は、改めて確認する。学校管理費は、決して寄附に頼っていない。強制的割り当て寄附は地方財政法第4条の5に抵触する。必要なことは財源措置をしていく。

「女性が輝くまち名張」を目指して！

■市議会議員女性比率…30.0% (県内 1 位)

6 人 / 全議員 20 人 (2 位…明和町 28.6%、3 位…伊賀市・東員町 21.4%、県内平均 12.5%)

■市一般行政管理職女性比率…23.7% (県内 2 位)

44 人 / 全管理職 186 人 (1 位…亀山市 26.4%、3 位…伊賀市 20.7%、県内平均 12.1%)

※平成 24 年 4 月 1 日現在



女性議員と 女性市職員等との 懇談会を開催

11 月 12 日、女性議員 (6 人) と名張市教育委員長、女性市職員 (部長職 5 人) が懇談しました。

男女共同参画に対する思いや実態について、市政の推進に向けて今後も互いに連携協力していくことなどについて話し合いました。



募集

「女性だからこそ…」の視点を大切に、ご意見を市政へ反映させたいと思います。私たち女性議員と一緒にわがまち名張について考えてみようと思われる人は、ぜひ名張市議会へお申し出ください。

☎ 議会事務局 ☎ 63 - 7834

「議会だより」紙面見直し後の感想をいただきました

見た瞬間に「読みやすい」という印象がありました。特に、顔写真が入ったせいか顔と名前が一致して、親しみが持てるので質問も自然に読みたくなりました。スペースも多く取ってくれているせいか、文字ばかりの印象がなく「読者に優しい」というのが率直な感想です。全体的にすごく良くなったと思います。

市議会が身近に感じられる取組をこれから

もぜひ続けてください。これで、我々の声が確かに市政に届いたという実感が持てました。多くの想いをさらに市議会に届けたいと思いますので、これからも「議会から市民の皆さんに」という姿勢を大切にいただき、積極的に各種団体や市民の意見を聞くという事を大切にしたいと思います。

社団法人 名張青年会議所



第 354 回定例会 審議結果

全会一致

専決処分した事件 (平成 24 年度名張市一般会計補正予算 (第 3 号)) の承認 / 専決処分した事件 (名張市手数料徴収条例の一部を改正する条例) の承認 / 名張市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の制定 / 名張市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 / 名張市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定 / 名張市公共下水道の構造の技術上の基準及び終末処理場の維持管理に関する条例の制定 / 名張市水道布設工事監督者の配置基準及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の制定 / 名張市職員定数条例の一部改正 / 選挙管理委員会及び議会等の要求により出頭した者等の実費弁償に関する条例の一部改正 / 名張市市税条例の一部改正 / 伊賀市・名張市広域行政事務組合規約の変更に関する協議 / 平成 24 年度名張市一般会計補正予算 (第 4 号) / 平成 24 年度名張市公共下水道事業特別会計補正予算 (第 1 号) / 平成 24 年度名張市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号) / 平成 24 年度名張市介護保険特別会計補正予算 (第 2 号) / 平成 24 年度名張市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号) / 教育委員会委員の任命についての同意 / 名張市議会会議規則の一部改正 / 名張市議会委員会条例の一部改正 / 市内普通科県立高校統合についての意見書

「市内普通科県立高校統合についての意見書」を県に提出

三重県教育委員会が設置する、伊賀地域高等学校再編活性化協議会において、名張桔梗丘高校と名張西高校を平成 28 年度に統合する方針が示されましたが、これまでの住民説明会での意見や質問、要望について具体的な解決策は協議されていません。

当議会は、両校の統合を否定するものではありません。しかし、伊賀地域における普通科の割合は、全国平均より 19.3% も下回っており、多数の生徒

の地域外への流出を生んでいます。まず、伊賀地域全体の県立高校の配置や役割など具体的な活性化策を協議した上で、統合された後の高校の具体的な姿を示し、地元の子どもはできうる限り地元の高校へ通学できる環境を作るべきと考えます。以上を踏まえ、伊賀地域全体の高校がその再編により、より活性化したものとなるよう、県知事と県教育長に意見書を提出することを全会一致で議決しました。

ホームページで会議録をご覧ください

名張市議会、名張市議会事務局 (市役所ホームページ内) のホームページからアクセスできます。☎ <http://www.city.nabari.lg.jp/gikai/>

おことわり

議員のお祝い金などの寄付行為につきましては、公職選挙法により禁止されています。皆さまのご理解をお願いします。

ご意見・ご要望をお待ちしています

議会広報特別委員会 (議会事務局 ☎ 63 - 7834)

3月

議会の日程

※ 予定を変更する場合があります。

開会時間は午前 10 時からです。ぜひ、傍聴にお越しください。一般質問はケーブルテレビで放映されます。

2月28日 開会	12日 予算特別委員会 (総務企画委員会所管分)
3月 5日 一般質問	13日 予算特別委員会 (教育民生委員会所管分)
6日 一般質問	14日 予算特別委員会 (産業建設委員会所管分)
7日 一般質問	15日 総務企画委員会
8日 補正予算	18日 教育民生委員会
11日 当初予算	19日 産業建設委員会 25日 採決